

BRAVE アマチュアキックボクシングのルール・規則は、AJKF 日本アマチュアキックボクシング連盟規則(下段参照)に準じ、公式戦として行われますが、一部 BRAVE 独自の事項も追加されています。

1.試合について

(1)服装…Tシャツ、キックトランクス

※刺青・タトゥーのある選手はあからさまな露出は避け、計量時もTシャツ等を着用すること(Tシャツの重さ込みでのリミットとする)

(2)防具

各自用意…膝パット・シンガード・ファールカップ・マウスピース・バンテージ

主催者用意…グローブ・ヘッドギア(持込可)

(3)時間

ワンマッチ=2分 2R(インターバル 30秒) / トーナメント=予選 3分 1R/決勝 2分 2R

K・J・S・Lクラスのワンマッチは基本的に1分 30秒 2R(インターバル 30秒)

(4)判定・ドロー

A2以下は2Rで決着がつかない場合ドローとし、A1以上は1Rの延長戦を行う

トーナメントの場合、延長戦(予選1分30秒/決勝2分1R)の延長戦を行う ※トーナメントでは延長戦はマスト形式で勝敗を決する

(5)大会運営 試合進行係、タイムキーパー、集計記録係を用意し、主審と連携する。

2.出場クラスのレベルについて

(1)クラス分け

【A(一般クラス) 高校生以上】

A1①上級クラス/実践空手初段以上

A1②キック・ボクシング・空手等の戦歴が①と同等の者

A1③P2選手と同等以上のレベルであると自己評価の者

A2①中級クラス/実践空手3級以上

A2②キック・ボクシング・空手等の実践修行が2年以上の者

A2③A3で3勝した選手(このクラスで勝利したらA1へ)

※A2クラスはプロテスト受験可能程度の実力を有する選手とする

A3①初級クラス/入門5ヶ月以上でスパーリング経験者

A3②攻防技術・持久力に問題がなく、マスボクシングが出来るレベル

【P(プロクラス)】

P1①キックまたはボクシングの現役プロ選手(3戦未勝利 or 1戦1勝以下)

P2①プロライセンス所持者でプロ大会に出場していない選手

【その他のクラス】

・Kクラス(キッズ・小学生) ・Jクラス(ジュニア・中学生)

・Sクラス(シニア・40歳以上) ・Lクラス(中学生以上の女性)

(2)その他

出場者は格闘技の経験、戦歴を連盟規定の申請書に正確に記入すること

組み合わせ状況により異なるレベル・階級と対戦する可能性もある(本人承諾)

3.階級・計量について ※当日試合直前に計量

[フライ級]51.0kg
[バンタム級]54.0kg
[フェザー級]57.5kg
[ライト級]61.0kg
[スーパーライト級]64.0kg
[ウェルター級]67.0kg
[ミドル]73.0kg
[ライトヘビー級]78.0kg
[ヘビー級]78.0kg～

4.反則、禁止・罰則事項

(1)反則、禁止行為

- ①5秒以上の首相撲
- ②掴みでの攻撃
- ③肘打ち
- ④金的
- ⑤頭突き
- ⑥ロープを掴みでの攻撃
- ⑦ベルトライン以下のダッキング
- ⑧一緒に倒れて床にはさむ攻撃
- ⑨ダウン中の攻撃
- ⑩後背(頭)部への攻撃(背中を向けると注意…2回で失格)
- ⑪顔面への膝蹴り ※Pクラスのみ顔面への膝蹴りを認める

(2)罰則

- ・相手にダメージを与える反則に対しては3回目以降は失格負けの対象となる
 - ・故意の反則は即減点とし、続行不可能の場合や悪質な場合は即失格の場合もある
 - ・(1)の④⑤は偶然の場合、1回目は注意、2回目は1減点
 - ※ダメージが軽微な場合は減点対象としない(主審の判断)
 - ※上記行為で続行不可能の時、その回を含めて採点し勝敗を決する
 - ※1R中に発生した場合は無効試合とする(ワンマッチの場合)
 - ・(1)の⑦の禁止行為は2回目の注意で失格負けとする
 - ・1試合中3回目の注意で失格もある(主審と本部で協議)
 - ・首を抱えての攻撃は5秒以内とし、それ以上は攻撃したら注意1、注意2回で減点1
 - ・反則は基本的に1回目注意1、2回目減点1、3回目減点2、4回目失格となる
 - ・6.セコンドの項にある注意点を守らなかった場合、選手への減点対象となる
- 上記にあてはまらない反則に関しては主審・及び本部の判断で罰則を決する

5.採点について

採点は減点方式で行う

10×10

- ①両者の手数、攻撃数、有効打がほぼ同等

10×9

- ①有効打によるダメージがある
- ②有効打が明らかに多い
- ③有効打はないが、手数、攻撃回数に明らかな差がある
 - ※キックとパンチを合計した有効打の回数に明らかな差がある
 - ※キックはブロックしても有効打と計算する
- ④一方のクリーンヒットが多く、ワンサイドの攻撃

10×8

- ①両者互角の中で、片方に1回ダウンがあった
- ②スタンディングダウンがあった
- ③ダウンに値するダメージがあった

KO-ノックアウト

- ①1R 中、2 回ダウンした場合
 - ②5 カウントまでにファイティングポーズをとらなかった場合
 - ③1 ダウンだが、ダメージが強い場合
- ※カウントは最終ラウンドを除き、インターバル中もカウントされる

TKO-テクニカルノックアウト

- ①セコンドからのタオル投
- ②選手の負傷
- ③ワンサイドの展開で、主審及び本部が試合を中止した場合

6.セコンドについて

- ①チーフ1名、アシスタント1名の計2名。1名のみリングに入れる。
- ②ラウンド中の声援や技術アドバイス等は常識的な範囲とする
- ③ラウンド中は選手に触れたり、リングに入ることはできない
- ④ラウンド開始時にタオル・バケツ・床の水等を除去する
- ⑤ラウンド中の棄権は、リング内にタオルを投げ入れてアピールする ※レフェリーのカウント中は棄権できない
- ⑥試合中は主審の指示に従うこと ※従わない場合は選手の減点とする
- ⑦服装はスポーツウェア、または統一したオリジナルウェアとする ※ジーンズ等の私服は禁止

7.審判について

- ①主審1名、副審3名
- ②判定は副審3名の採点を合計して決する
- ③主審は安全性を考慮し、試合を随時中止できる
- ④服装は連合会規定のものとする ※リング内では金属の付いた装身具の着用は禁止

8.特記

「JAKF との相違」…

当連合会は JAKF 日本アマキック連盟の傘下であり、BRAVE キックボクシング部門は同連盟の公式戦として行われるが、『BRAVE』と『JAKF アマキック定期戦』では、地方開催による諸事情の都合により、ルール・参加費等が異なる。

9.特別ルール

当連合会ではアマチュア選手の育成及び競技の発展を目的として独自に『BRAVE 体験マッチ(チャレンジマッチ)』を実施しています。これは JAKF 日本アマキック連盟の公式戦とは異なり、非公式戦として行います。

ルール・罰則等は公式戦とほぼ同じですが、未経験者や初級者を対象として、より安全な独自のルールを設けています。

※詳細は連合会事務局まで問い合わせてください。

■JAKF 日本アマチュアキックボクシング連盟/Smashers 公式ルール <http://kick-innovation.com/download.php>

N.M.F 東北格闘技連合会 2019.04.01 改定